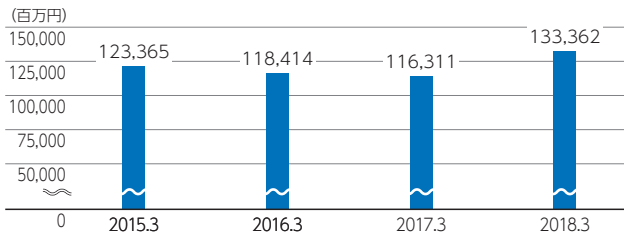


## 財務ハイライト／非財務ハイライト

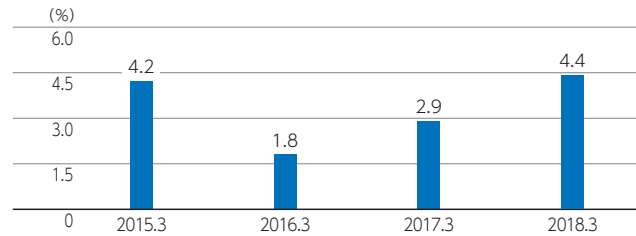
日本ケミコングループの主な財務情報と非財務情報をグラフに表しました。

### 売上高



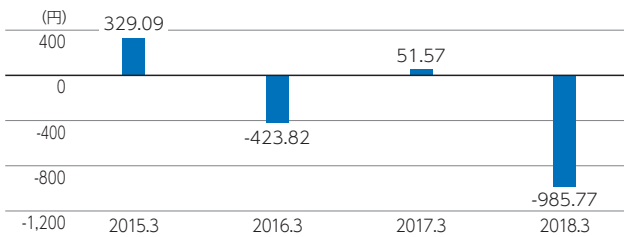
車載市場向けの売上が堅調に伸びています。

### 営業利益率

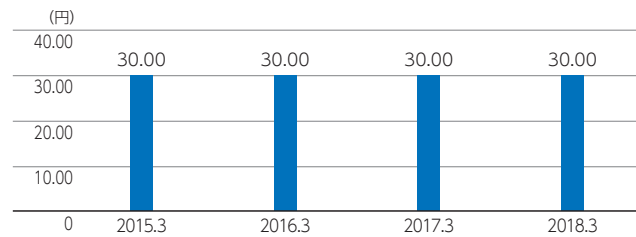


中期的には6%を目標に掲げています。

### 1株当たり当期純利益 (EPS)

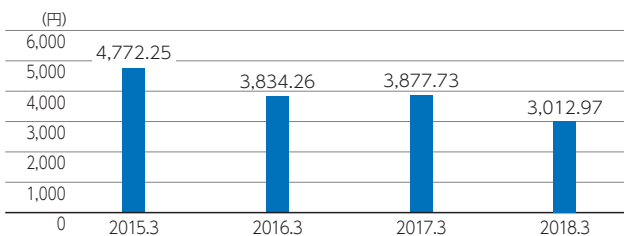


### 1株当たり年間配当金 (DPS)

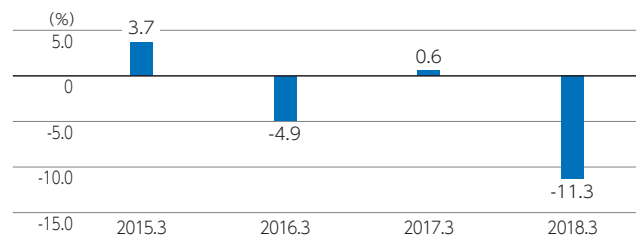


安定的な配当の継続に努めています。

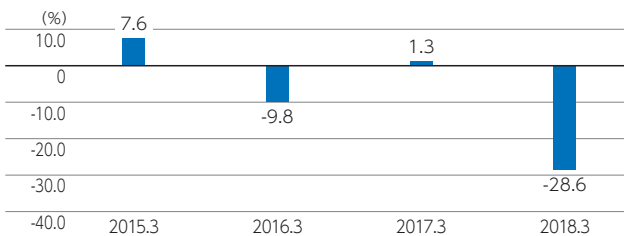
### 1株当たり純資産 (BPS)



### 総資産利益率 (ROA)

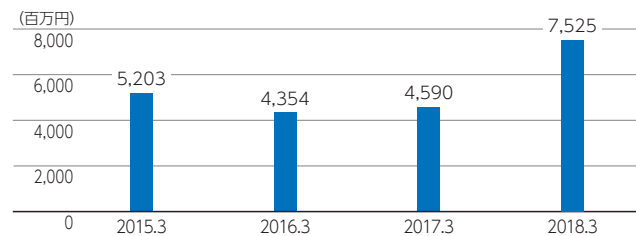


### 自己資本利益率 (ROE)



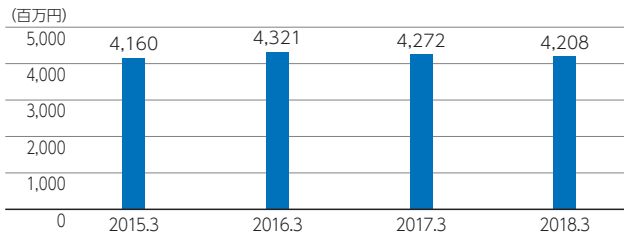
中期的には8%を目標に掲げています。

### 設備投資



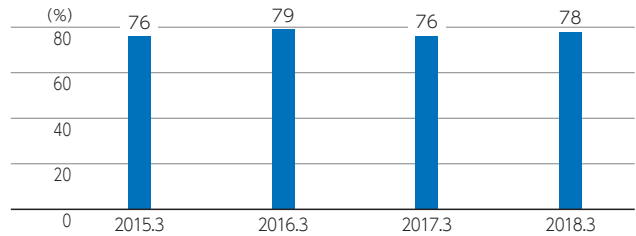
コンデンサとその材料の生産設備の合理化や増力投資のほか、次世代製品の試作・量産化のための設備投資が中心です。

### 研究開発費



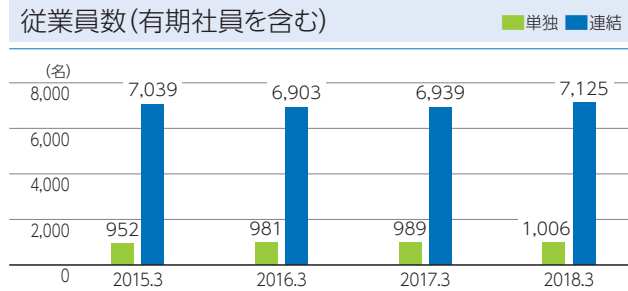
企業発展の原動力となる技術開発には、中長期的な計画のもと、売上高の3~4%程度の研究開発投資を維持するよう努めています。

### 海外売上高構成比



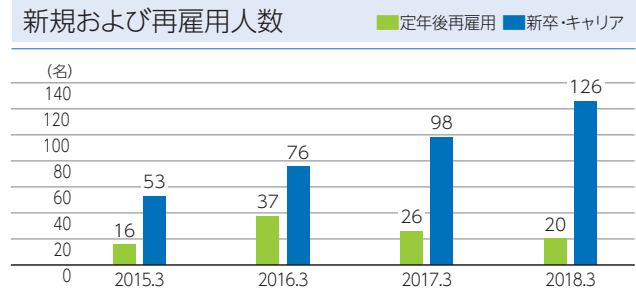
近年は、国内市場の縮小と、中国市場の拡大が顕著になっています。他の国や地域を含めて最適な販売戦略を進めます。

### 従業員数(有期社員を含む)



従業員数は安定しており、大きな変動はありません。

### 新規および再雇用人数



### 製品の遵法



2003年7月に欧州でELV(廃自動車)指令が施行されて以来、2006年のRoHS指令、2007年にはREACH規則など、製品に関わる化学物質の法規制が内外で強化されてきています。これらに連動するように、お客様からの、規制物質を含まない“グリーンな製品”への要求がさらに高まっています。

グラフは、当社製品のグリーン度(規制物質の非含有確認)に関する、お客様からの調査件数推移を表しています。2002年頃には年間約2,000件だったものが、法規制の強化に伴い調査件数が増加し、近年では6,000件を越すお問い合わせをいただいています。製品の“遵法”にお客様が、いかに注目されているかを読み取ることができます。

### 環境監査実施件数



日本ケミコングループが購入する材料・部品の“遵法”を確認するため、サプライヤ様への立ち入りを含む、定期的な環境監査を実施し、評価、情報の展開を図っています。

当社グループでは、グリーン調達強化、サプライヤ様への啓蒙・監査、分析による確認等様々な手法を用いて、市場へ直接・間接を問わず上市される、当社製品のコンプライアンス強化に努めています。